美術史・文化遺産特殊講義2C－Ⅱ

科目ナンバリング　FAH-204
選択必修　　2単位

三宅　秀和

1. 授業の概要（ねらい）

伊藤若冲や曾我蕭白、円山応挙や池大雅など、多彩な画家・画風を生み出した18世紀の京都画壇をとりあげる。授業では、毎回、当該期の人気画家や作品に関する重要な論文、最新の研究などを詳しく解説し、受講生が美術史の様々な研究方法について知ることを目的とする。さらに、18世紀の京都画壇の特質や、それを生み出した歴史的背景、受容者の美意識について考察する。こうした諸知識をふまえて、受講生にこの時代の作品の読み方を伝えたい。

2. 授業の到達目標

受講生が、絵画資料の多角的な研究方法について知ること。絵画資料のディスクリプション（作品を言葉で描写すること）ができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験（80%）と平常点（展示見学会への参加、リアクションペーパーの質など）（20%）をもとに評価する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

積極的に美術館、博物館に行き、実物をよく観察すること。必要な論文を入手すること。

6. その他履修上の注意事項

授業で展覧会見学会を行うことがある。

7. 授業内容

【第1回】　授業の内容と進め方の説明
【第2回】　18世紀の京都画壇を生み出した歴史的背景
【第3回】　鶴沢派と石田幽汀
【第4回】　南蘋派の流行
【第5回】　円山応挙①
【第6回】　円山応挙②
【第7回】　長沢芦雪
【第8回】　伊藤若冲①
【第9回】　伊藤若冲②
【第10回】　曾我蕭白①
【第11回】　曾我蕭白②
【第12回】　池大雅①
【第13回】　池大雅②
【第14回】　展覧会見学会
【第15回】　まとめと試験